

|   |   |                  |                   |
|---|---|------------------|-------------------|
| 科目コード／科目名<br>(Course Code / Course Title) | AC311／史学講義 11<br>(Lectures on History 11) |                  |                   |
| テーマ／サブタイトル等<br>(Theme / Subtitle)         | 前近代における法と国家                               |                  |                   |
| 担当者名<br>(Instructor)                      | 内川 勇太(UCHIKAWA YUTA)                      |                  |                   |
| 学期<br>(Semester)                          | 秋学期(Fall Semester)                        | 単位<br>(Credit)   | 2単位(2 Credits)    |
| 科目ナンバリング<br>(Course Number)               | HIS3500                                   | 言語<br>(Language) | 日本語<br>(Japanese) |
| 備考<br>(Notes)                             |   |                  |                   |

#### 授業の目標(Course Objectives)

アングロ＝サクソン期イングランド(450年頃から1066年)の政治的統合過程を概観する中で、同時期の法と国家に関する基本的な知識の習得を目指す。

This course aims to outline the process of the political integration of Anglo-Saxon England (c. 450-1066) and the development of its law.

#### 授業の内容(Course Contents)

アングロ＝サクソン期イングランドの歴史を、写本や文書などの文字資料・貨幣・考古学資料等の画像を積極的に活用しながら概観する。前半においてアングロ＝サクソン期の政治的統合過程を概観したのち、後半においてアングロ＝サクソン期イングランドの法と国家の実態を様々な角度から考察する。

An overview of the history of Anglo-Saxon England will be presented by using written sources, coin finds and archaeological finds. The first part concerns with the political integration of England while the second part considers law and state in the period from various perspectives.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. イングランドの政治的統合過程①: アングロ＝サクソン人の移住と諸王国の成立
3. イングランドの政治的統合過程②: キリスト教への改宗と教会組織の整備
4. 七王国(ヘプターキー)概念とブリテンの覇者(ブレトワルダ)概念
5. イングランドの政治的統合過程③: マーシア王国の覇権
6. イングランドの政治的統合過程④: ヴァイキングの侵入
7. イングランドの政治的統合過程⑤: ウェセックス王国によるイングランド地域の政治的統合
8. イングランドの政治的統合過程⑥: デーン人とノルマン人による2度の征服とアングロ＝サクソン期イングランドの終焉
9. アングロ＝サクソン期の統治制度と文書
10. アングロ＝サクソン期の法典①: 7世紀から8世紀
11. アングロ＝サクソン期の法典②: 9世紀から11世紀
12. 集会
13. 貨幣制度
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

- ・初回までに参考文献の該当箇所を可能な範囲で読んでおくことが望ましい。
- ・毎授業終了後にリアクションペーパーを提出してもらう。
- ・その他必要があれば適宜指示する。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(70%) / リアクションペーパー(30%)

#### テキスト(Textbooks)

なし

#### 参考文献(Readings)

1. 近藤和彦編、2010、『イギリス史研究入門』、山川出版社 (ISBN:9784634640368)
2. 青山吉信編、1991、『世界歴史体系イギリス史1:先史・中世』、山川出版社 (ISBN:9784634460102)
3. トマス・チャールズ＝エドワーズ編・常見信代監訳、2010、『オックスフォードブリテン諸島の歴史2:ポスト・ローマ』、慶應義塾大学出版会 (ISBN:9784766416428)

4. ウェンディ・デイヴィス編・鶴島博和監訳、2015、『オックスフォードブリテン諸島の歴史3: ヴァイキングからノルマン人へ』、慶応義塾大学出版会 (ISBN:9784766416435)
5. Patrick Wormald. 1999. *The Making of English Law: King Alfred to the Twelfth Century, Vol. I Legislation and its Limits*. Blackwell (ISBN:0631134964)
6. John Hudson. 2012. *The Oxford History of the Laws of England: Vol. II, 871–1216*. Oxford University Press (ISBN:9780198260301)

その他(HP等) (Others(e.g.HP))

・質問はリアクションペーパーまたは初回時に指示するメールアドレスで受け付ける。

注意事項 (Notice)